

国に対し「75歳以上の後期高齢者医療費自己負担の原則2割に引き上げないことを

求める意見書」の提出を求める請願

**【請願趣旨】**

75歳以上の後期高齢者医療費自己負担を現行の1割から2割に引き上げる審議が、経済財政諮問会議や財政制度審議会が進められ、社会保障審議会でも審議されています。2割負担に対しては、老人クラブや医療関係団体から慎重な審議を求める意見が出されています。

また秋田県社会保障推進協議会が県内25市町村の12月議会に提出した「75歳以上の後期高齢者医療費自己負担を2割にしないことを国に求める陳情書」は、20市町村（80%）で採択されています。さらに2月8日の宮城県後期高齢医療広域連合議会は、政府に対し、後期高齢者の医療費自己負担を1割から2割へ引き上げることをやめ、現状維持を求める意見書が採択されました。

一人暮らし高齢者の約半数が生活保護基準を下回る収入しかなく、高齢者の27%が貧困状態陥っています。貯金をとり崩して生活するなど、高齢者の暮らしは大変になっています。

また、後期高齢者医療保険料の特例軽減が縮小・廃止され、入院給食費の自己負担も2018年4月から1食につき100円引き上げられており、高齢者からは、「これ以上の負担は耐えられない」という声が出されています。

医療費窓口負担を2割に引き上げれば、お金がない、支払いが心配などにより、具合が悪くても受診を控え、病状を悪化させる事態がさらに広がることが懸念されます。

高齢者が安心して医療を受けられるように、町田市議会が国に対して75歳以上の後期高齢者医療費自己負担を原則2割に引き上げないことを求める意見書を提出して頂きたく、以下請願いたします。

**【請願項目】**

- 一、 国に対して、75歳以上の後期高齢者医療費自己負担を原則2割に引き上げないことを求める意見書を提出してください。